

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 特定非営利活動法人

国際交流の会とよなか(TIFA)

1 事業の趣旨・目的

地域の外国人が地域の中で必要な人材になれるように、日本語力をとおして力づける。

同国の後輩を助けられるようにする。外国籍住民として活躍の場を広げる。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月1日	グローバルとよなか	鵜川まき 藤本和栄 葛西道生 サマンティカ、岡田勝美、田坂百合子、イラ、葛西芙紗 他 受講者有志	今年度の方針 レベルがそろっていない。能力まだ不足している受講生をどうするか？	受講者の要望にそって指導していく。 A・Bクラスに分けて実施するが、BはAクラスが適時指導実習に利用する。
11月2日	くらしかん	中川清司、葛西道生 鵜川まき、サマンティカ 岡田勝美、田坂百合子 イラ、葛西芙紗	進捗状況から 今後の進め方について 保育状況	学習者の一部が、仕事についたり、妊娠者が出てメンバーチェンジがあったが、受講生のニーズに合わせて、充実したクラスにする。
1月25日	くらしかん	藤本和栄 葛西道生 鵜川まき サマンティカ 岡田勝美 田坂百合子	進捗状況報告 反省点 参加者・保育の子ども対策	子連れの受講者のために、保育方法を工夫し、親が安心して勉強できるようにする。
3月8日	グローバルとよなか	中川清司 サマンティカ 藤本和栄 岡田勝美 葛西道生 イラ・田坂百合子 受講生有志	活動の評価	もっと勉強を続けたいという受講生の要望を聞いて、新年度は、さらに発展した授業を実施することになった

第 1 回



第 3 回



養成講座の内容について

(1) 養成講座名 TIFA 日本語指導者(外国人)養成講座

(2) 養成講座の目標

生活者としての彼らの経験から、外国人にとってより住みやすい社会にし、ニューカマーとして来日する後輩にどのような指導するか？本講座では買い物、健康、子育て、住宅などの実生活の場面を乗り越えるのに彼らが試行錯誤の結果身に付けてきた様々な方法を語り合いながら、さらにそれらをどのように後輩に伝えていくのかを考える機会を設けました。

すでに日本語ができる人でも、さらに日本語能力を磨くことが自信に繋がることを考え、彼ら自身の日本語を伸ばす機会も作りました。日本語学習そのものの特徴は学習目標や方法などを自分のニーズに合わせて彼ら自身が考えていくことでした。このことによって、受講者が受身の立場ではなく、主体的に学習計画がたてられるようになり、今後指導者の立場に立った場合、より積極的に後輩のニーズを理解する努力をする指導者になることを目指しました。

(3) 受講者の総数 20 人

(4) 開催時間数(回数) 68 時間 (34回)

(5) 参加対象者の要件

日本語 3 級程度の力があり、将来後輩の日本語 指導に意欲のあること。(実際にはまだこのレベルに達しない学習者が希望してきたため、将来は日本語指導に意欲のあることを条件に別クラスで補助者が指導。

(6) 受講者の募集方法

ちらし、外国人団体へよびかけ、当会のホームページ、グローバルとよなかの表示板へのポスターなどで PR

(7) 研修会場 阪急豊中駅前の「グローバルとよなか」

(8) 使用した教材・リソース

識字教材作成委員会(2009)『識字・日本語教材 現代生活・日本語カタログ 第2巻一』
大阪府教育委員会

『日本語ジャーナル』アルク

その他: インターネット、新聞、小学校、幼稚園、保育園などの資料、保健センターなどの問診表等 松岡龍実・辻 信代(2004)『日本語能力試験に出る文法2級』国書刊行会

講座内容 A:指導者養成講座 B:初級レベル者のための補充クラス

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
6月1日 10時～12時	自己紹介 今年度の講座の目標設定	サマンティカ 岡田勝美	11人
6月8日 10時～12時	A:現代生活・日本語カタログー第2巻ー ユニット6 子育て(新しい語彙、漢字、文法、読解) B:日常生活に必要な初歩的表現を学習	サマンティカ 岡田勝美	11人
6月15日 10時～12時	A:現代生活・日本語カタログー第2巻ー ユニット6 子育て(受講者の子育て経験) B:日常生活に必要な初歩的表現を学習	サマンティカ 岡田勝美	12人
6月22日 10時～12時	A:現代生活・日本語カタログー第2巻ー ユニット6 子育て、予防接種 B:日常生活に必要な初歩的表現を学習	サマンティカ 岡田勝美	11人
6月29日 10時～12時	A:受講者が実際に使用している予防接種、や子供の 検診の問診表の表現や語彙の紹介・確認 B:日常生活に必要な初歩的表現を学習	サマンティカ 岡田勝美	12人
7月8日 10時～12時	A:現代生活・日本語カタログー第2巻ー ユニット6 子育て(授業者の作文) B:日常生活に必要な初歩的表現を学習	サマンティカ 岡田勝美	13人
7月13日 10時～12時	A:公立の小学校のお便り、手紙の内容理解 B:日常生活に必要な初歩的表現を学習	サマンティカ 岡田勝美	11人
7月27日 10時～12時	現代生活・日本語カタログー第2巻ー 日本語指導実習	岡田勝美 葛西芙紗	10人
8月3日 10時～12時	現代生活・日本語カタログー第2巻ー 日本語指導実習	岡田勝美 葛西芙紗	8人
8月17日 10時～12時	現代生活・日本語カタログー第2巻ー 日本語指導実習	岡田勝美 葛西芙紗	8人
8月24日 10時～12時	現代生活・日本語カタログー第2巻ー 日本語問題集	サマンティカ 岡田勝美	8人
8月31日 10時～12時	夏休みの過ごし方を各自で話す 初級者と上級者合同	サマンティカ 岡田勝美	10人
9月7日 10時～12時	A:政治 新聞記事から日本の政治の最新動きを理解 する B:日常生活に必要な初歩的表現を学習	サマンティカ 岡田勝美	11人
9月14日 10時～12時	A:政治 新聞記事から日本の政治の最新動きを理解 する 漢字テスト	サマンティカ	12人

	B:自己紹介・基礎的な行為の表現	岡田勝美	
9月 28日 10時～12時	A:日本の政治に関する新聞記事 読解 指導者養成:初級レベルの文法(形容詞の教え方 B:学習者のレベルに合わせ新出表現・復習	サマンティカ 岡田勝美	11人
10月 5日 10時～12時	A:日本語能力試験に出る文法・漢字 指導者養成:初級レベルの文法(形容詞を教えるための教材を考える) B パワーポイントを使用した自作の視覚的教材で	サマンティカ 岡田勝美	11人
10月 19日 10時～12時	A:日本語能力試験に出る文法・漢字 B: パワーポイントを使用した自作の視覚的教材で	サマンティカ 岡田勝美	11人
10月 26日 10時～12時	A:日本語能力試験に出る文法・漢字・聴解 B:数字(円・時間・日)基礎的な形容詞(自作教材で)	サマンティカ 岡田勝美	10人
11月 2日 10時～12時	A:日本語能力試験に出る文法・漢字・読解 B:形容詞・位置詞	サマンティカ 岡田勝美	11人
11月 9日 10時～12時	A:小・中学校で国際理解教育をすることの大切さー受講者一人一人の経験 B:助数詞	サマンティカ 岡田勝美	11人
11月 16日 10時～12時	A:小・中学校で国際理解教育をすることの大切さー受講者一人一人の経験 B:復習	サマンティカ 岡田勝美	11人
11月 30日 10時～12時	A:日本語能力試験に出る文法・漢字・読解 B:動詞 て形の練習	サマンティカ 岡田勝美	11人
12月 7日 10時～12時	A:日本語能力試験に出る文法・漢字・聴解 B:復習	サマンティカ 岡田勝美	10人
12月 14日 10時～12時	A:日本語能力試験に出る文法・漢字 B:日常生活に必要な表現の練習	サマンティカ 岡田勝美	11人
12月 21日 10時～12時	A:日本語能力試験に出る文法・漢字・聴解 B:日常生活に必要な表現の練習	サマンティカ 岡田勝美	10人
1月 18日 10時～12時	A/B 合同 お正月の過ごし方、文法テスト	サマンティカ 岡田勝美	12人
1月 25日 10時～12時	A:漢字テスト、日本語能力試験に出る文法・漢字・聴解 B: 日常生活に必要な表現の練習	サマンティカ 岡田勝美	12人
2月 1日 10時～12時	A:日本語能力試験に出る文法・漢字・聴解 B:パワーポイントを使った教材で練習	サマンティカ 岡田勝美	13人

2月8日 10時～12時	AB 京都教育大学の国際理解・実地研究のフィールドワークに協力 受講者は大学生にインタビューされ、生活者としての経験を話す	サマンティカ 岡田勝美	14人
2月15日 10時～12時	A:フィールドワークのフィードバック 日本語ジャーナルの記事 読解(語彙、文法の確認) B:聴解タスク L567、会話(～C2)	サマンティカ 岡田勝美	13人
2月22日 10時～12時	A:漢字テスト、日本語指導実地研修 B:聴解タスク L7,L8 形容詞	サマンティカ 岡田勝美	14人
3月1日 10時～12時	A:読解、日本語指導実地研修 B 指導者の教材での練習	サマンティカ 岡田勝美	15人
3月8日 10時～12時	A: 話し合い、日本語指導実地研修 B: 指導者の教材での練習	サマンティカ 岡田勝美	14人
3月15日 10時～12時	A: 日本語指導実地研修、研修成果発表 B: 指導者の教材での練習	サマンティカ 岡田勝美	15人



A クラス



B クラス

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

- * いままで子どもの学校へ行ったり、行事に参加することが恐かったけれど、自信がついてきた。
- * パソコンを日本語で使えるようになった。
- * お知らせなど受け取る文書が読めるようになってうれしい。
- * 人に教えるために勉強したことはよかった。
- * 日常の活動が広がった。

② 実施主体からの研修内容結果評価

受講者が主体的に講座に参加する姿が毎回みられました。次回の内容、授業の進め方などを自分たちで決めていけるようになりました。実生活の子育て、健康などの場面から後輩に伝えたいものをピックアップし、今後どのように活かせるのかを常に考える習慣が身に付いたと

言えます。受講者の中には市の外国人市民会議の議員として活躍を始めた人や常に自分の国の後輩を指導している人もいます。

今年度の後半に京都教育大学の学生にインタビューされ、今までの経験や在日外国人の立場からみて社会の変えていくべきところを聞かれましたが、受講者が非常に積極的にインタビューに答え、特に今後教師になるかもしれない教育大学の学生を相手に、子育ての中で自分たちが今経験していることを話していました。彼らは授業で考えた様々なことを毎日の生活に結びつけ、さらに指導者として成長してきたと考えられます。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

日本語の指導が、はじめ段階の支援から、社会の一員として活躍していける力をつけて、
どんどん社会で必要とされる人材に成長してもらえるような支援体制を確立させたい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

他の日本語教室の応援

国際理解教育へ講師として派遣

小・中学校の渡日生対応

② 研修後の人材活用

ロシア、ネパール、インドネシア、ベトナムの人達を通訳として小学校へ

日本語教室の講師アシスタントに登用

渡日生の通訳者として小中学校へ派遣

(12) 今後の課題

受講生の中には自分の日本語能力に自信を持ってない人がいます。日常生活では日本語の不自由はほとんどないにもかかわらず、日本語ができない、漢字ができないとだけ考え、外の社会と積極的に関わらないのです。本当は日本語ができないのではなく、自信がないだけだと言えます。彼らが自信を持って様々な活動に参加するよう激励していく事が今後の課題です。(サマンティカ・ロクガマゲ)



記念撮影

